

## 一般質問通告書

受領日時 令和6年6月3日 午前 午後10時05分 8番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 馬場目川(磯ノ目地区沿線)の河道掘削工事の工期の明示について	<p>(1) 洪水時の水位を低下させるため、河道を掘って水が流れる面積を広くすることは誰もが理解するところである。</p> <p>馬場目川(磯ノ目地区沿線)の左岸と右岸には、土砂がまだ残っていて50年前当時の川幅には戻っていない。県では引き続き河道掘削工事を進めると言うが富津内川の下山内地域を堤防で囲う『輪中堤』工法が上山内から下山内までの区間での河道掘削と築堤による工法に変更するとの説明がされた。良くなる工法変更には賛成だが、一貫性に欠ける説明からは不安も感じる。馬場目川(磯ノ目地区沿線)の残された土砂の河道掘削工事の開始時期と完成時期を明示してもらいたい。</p>
2 町道五城目外環状線(通称広域農道)の県道昇格について	<p>(1) 秋田中央地区広域農道(五城目町外環状線から広域金足黒川線)の県道昇格を提言する。</p> <p>広域農道は、広域営農団地育成対策の一環として、広域営農団地整備計画に基づき、団地内の農地や農業用施設を有機的効率的に運営するため、農道網の基幹となる農道を整備し、農業生産の近代化や高生産性農業の展開と農村の生活環境の改善を図る事業であると認識している。</p> <p>秋田中央地区広域農道(五城目町外環状線から広域金足黒川線)は秋田市、潟上市、井川町、五城目町の4市町村が跨っていると思うが、それぞれの道路延長と総延長、道路幅員、認定年月日を聞く。また、広域農道としての共用開始は何年からか。</p> <p>(2) この広域農道は、共用して長い年月が経っていると思うが現状をみると本町町民の利用者に加え県北部から秋田市内等への交通手段として利用者の往来が激しいことなど、その交通量は周辺の国道や県道に匹敵するものがあると感じている。このため、毎年除雪費や維持補修費に多額の経費がかかり、各市町とも苦慮しているのではないか。</p> <p>平成22年度の8月に南秋田郡町村議会議員大会でも秋田中央地区広域農道の県道昇格を期すると決議されている。</p> <p>現状で広域的な幹線道路としての機能をもう既に果たしており県道への昇格を提言するものである。</p>

<p>3 「子どもの祭典」の復活について</p>	<p>(1) 全町の子どもたちが美しい自然のなかで多くの仲間と交流し、情操豊かな人間に成長することを目的に雀館運動公園運動広場を会場に開催されていた「五城目町子どもの祭典」が平成8年8月8日の第26回を最後に幕を閉じている。</p> <p>当時は、各地域に小学校があったことから送迎バス等で関係者の皆様には多大なご苦勞があったことと察する。</p> <p>祭典には町内の小学5、6年生と中学生のほかに、五城目町と千代田区の交流を図るため千代田区九段小学校の児童や保護者など48人も参加し、本町の子どもたちと一緒に子ども祭典を楽しんだ。(小学校の野球親善試合も行った)</p> <p>また、夕食時には五城目高校と五城目第一中学校のブラスバンド部合同による演奏を行い、祭典を盛り上げた。</p> <p>子どもたちはキャンプファイヤーや打ち上げ花火などを楽しみ、夏休みの1日を満喫した。</p> <p>子どもたちの思い出の1コマとして「ふれあい、思いやり」を体験できる「子どもの祭典」を復活できないか。</p>
<p>4 鳥獣被害対策に伴う「電気柵」設置者への補助金の交付について</p>	<p>(1) イノシシやシカなど野生動物に田畑を荒らされることによる農作物の被害額は、全国で年間およそ200億円に上っているという記事を目にした。</p> <p>農林水産省は山間部に近い自治体などに交付金を出し、動物が田畑に侵入するのを防ぐ「電気柵」等の柵を設置する補助事業(電気柵やワイヤを張った柵を田畑に設置するなどした場合、最大で全額が補助される「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」)を実施していると聞くが、町ではこれらの対応をどのようにしているのか。</p>